

二七回生 春の集い (赤坂の中華反転にて)

平成20年 3月29日



萩原、高見、増田 (柏倉)、島野 (森広)、戸島 (大石)、宮林 (村田)、五十嵐
林、角田 (六角)、三木 (室井)、城戸 (吉田)

今年の春、三月二十九日(土)、昨年の千里山会に風邪で出席できなかった高見君の提案で二七回生による「お花見」を開催しました。「お花見の日」の設定は非常に難しいものです。我々二七回生は今年、六五歳になりますが、男も女も働いている者、親・夫の世話をしている方も居ます。となるとこの種の催しは、平日の夜か、土日の昼間となります。それも二週間ぐらい前には開催日を決定し、皆さんに連絡しなければなりません。

桜は我々の日程に合わせてはくれませんが、早すぎ、遅すぎ・・・花の命は短くて・・・ですね。

でも我々の日頃の行いがいいせいでしようか? 当日はすこぶる花見にピタリのお天気でした。会食の後、赤坂から四谷界隈の桜堤を散策しウン十年前を回顧しました。

このところ、我々二七回生は毎年、春に学年会を催しております。

竹友会 (還暦同窓会) : 32回生

竹友会は明原文治先生と5年竹組、6年竹組を共に過ごした生徒54名の集まりです。今は故人となった中條君がまとめ役として千二小卒業後毎年開催の努力を行い現在に至っています。先生は平成11年にお亡くなりになりましたがその後先生命名の「竹友会」は途絶えることなく継続しております。今年も還暦を迎える年として「竹友還暦会」として開催されました。昨年は千里山散策を取り入れた会でしたが今年も6月7日に神戸元町にて集いました。

お喋りをしているとみんな変わってない、ステキです、還暦とは思えない。楽器の演奏、フラダンス、カラオケ、孫もいるお祖母ちゃんお祖父ちゃんもいます。還暦とは思われない元気な顔々。歌って飲んでお喋りしてそして友の話に聞き入り、頷き、時間が止まれば良いのになど感じるひと時でした。さすがに年月は確実に経過しましたけれど何も変わらないものがあつたと感じました。

5年竹組、6年竹組のみながそこにいました。きつとみんな同じ気持ちだったと思います。

(32回生 一井邦敏)



大田 徳廣 深川 友田 細見 吉村 丹羽
森 宮本 海原 門田 市道
幸治 津止 加藤 鈴間 寺田 一井 (全て旧姓)